

小球開花性ユリ新品種の開発

園芸試験場 花き研究室

背景

一般にユリは、球根を養成して切花を得るため、種苗コストが高い。
そこで、りん片繁殖から球根養成栽培を経ずに切花出荷できる新奇性のある新品種を開発する。



×

交配

シンテッポウユリ
(種から1年以内に開花)

花が小さく珍しい
有色のユリ

バイオテク手法で育成



‘鳥鱗1号’

(品種登録出願中: 第32877号)

・りん片繁殖個体の開花率80%※以上

※ 季咲き栽培での数値



特徴

- ・花の大きさはスカシユリ‘モナ’より小さく、ヒメユリより大きい
- ・花の斑点は極めて少ない
- ・ヒメユリより日持ち性が優れる(3日⇒7日)

今後の取り組み

- ・秋出荷作型での栽培法を明らかにする。

表 りん片繁殖苗による栽培スケジュール

月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
従来 球根繁殖性 ユリ	1年目				球根養成				りん片繁殖	定植			
	2年目				球根養成								定植
	3年目						収穫						
鳥鱗1号	1年目								りん片繁殖	定植			
	2年目						収穫						

* りん片からの栽培期間が従来球根繁殖性ユリの1/3と大幅に短縮!